

ごあいさつ

平素は、私ども中兵庫信用金庫に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

ここにお届けします「中兵庫信用金庫の現況」は、2019年度の業務活動や業績の推移を中心に、地域とのかかわり等をわかりやすく編集したものです。ご高覧の上、<なかしん>に対するご理解を一層深めていただければ幸いです。

さて、「平成」から「令和」に元号が変わった昨年度のわが国経済は、世界経済の減速により外需は減少に転じ、内需も力強さに欠け、10月からはさらに消費税増税による消費マインドの低下が影響しました。特に、第4四半期には新型コロナウイルス感染症拡大に伴い生命や経済への不安が重くのしかかりました。

このような経済環境の中ではありましたが、当金庫は創立50周年を迎え、節目となる事業年度を無事に終えることができました。おかげさまで地域の皆さまからは変らぬご支援を賜り、当期純利益1,080百万円を計上することができました。また、経営の安全性・健全性の指標である自己資本比率は23.37%となり、自己資本額も547億円となりました。引き続きご安心いただけるものと思います。

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大による経済的影響が、リーマン・ショックを超え、戦後最も厳しいマイナス成長となると言われております。国内では年度当初より一か月半にわたり緊急事態宣言が発令されるなど、正常な経済活動が困難な状況が続き、経営環境は厳しさを増しております。今後、「新しい生活様式」に基づき感染拡大防止を図りつつ、地域金融機関として地域やお客様の信頼と期待に応え、共に困難に打ち勝ち、豊かな地域の未来に繋げていけるよう試行錯誤しながら取り組んでまいります。

今後とも、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのますますのご繁栄とご健勝を心から祈念申し上げます。

2020年7月



理事長 足立厚郎

あなたとまちと フェイス to フェイス

